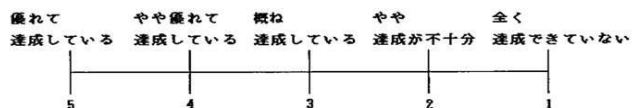


【目標評価点】



	目指す地域の姿	活動目標	団体でできること	目指す地域に向けた活動目標評価点	評価理由（できていること・課題）など
1	I 人と地域のつながりがあるまち	① つながるきっかけを作ろう	・地域のイベントや祭などを通じて地域交流しつながります	平均点 3.39	ホームスタートのボランティア養成講座や区民まつり、地域イベント、施設のまつりなどを通じて、地域交流の機会が広がっています。 一方で、地域交流やイベント参加には至っていない団体もあります。
2		② つながる場を作ろう	・団体内や近隣の団体と協力し、つながる場の提供など考えます	平均点 3.36	親子ひろばや園庭開放など、地域の人が気軽に集える場の提供が進み、つながる場が広がっています。 一方で、体制への影響から参加に消極的になっている団体や検討中の団体もあります。
3		③ つながる仕組みを活用しよう	・地域におけるさまざまな関係機関とつながりを作っていきます	平均点 3.14	連絡会などへの参加を通して、地域の様々な関係機関とのつながりづくりが進み、相談や連携がしやすい環境が広がりつつあります。 一方で、地域・関係機関とのつながりが十分でない団体もあります。
4	II 支え合い、助け合いのあるまち	① 思いやりの心を育てよう	・学生ボランティアの体験場所として受け入れます ・ボランティアに参加した方に感謝の言葉をかけます	平均点 3.14	学生ボランティアの体験場所の提供や実習の受け入れ、ボランティアへのお礼状などで感謝を伝える取り組みが行われています。 一方で、企業などの学生ボランティアの受け入れを行っていない団体や、活動の性質上受け入れが難しい団体もあります。
5		② 地域で助け合おう	・団体が有する専門知識や経験を地域に共有します	平均点 3.11	活動報告会や公開講座、育児相談、講演、スポーツ教室、防災訓練への協力などを通じて、団体の専門知識や経験を地域に共有する取り組みが進んでいます。 一方で、専門知識や経験を地域に共有する機会が少ないことが課題です。
6		③ 人材を育成しよう	・ボランティアを積極的に受け入れます	平均点 3.32	ボランティアの受け入れを進める団体が増え、人材育成に向けた取組が進んでいます。 一方で、受け入れができていない団体や、募集しても参加者が集まらない団体もあります。
7		④ ボランティアや地域貢献活動を推進しよう	・地域活動に参加・協力します ・自ら進んで地域貢献活動を行います ・お互いに助け合える地域になるよう、ボランティア活動を広げていきます	平均点 3.25	地域活動への参加・協力をはじめ、子ども・子育て支援、在住外国人支援、ごみ拾い、寄付活動などを通じて、地域貢献活動が進められています。 一方で、参加できる活動や地域活動への参加の機会が限られている団体もあります。

	目指す地域の姿	活動目標	団体でできること	目指す地域に向けた活動目標評価点	評価理由（できていること・課題）など
8	Ⅲ 安心できる生活を支える仕組みのあるまち	① 安心して暮らせる環境を整えよう	・団体同士連携・協働して取組む体制づくりを進めます ・社協の取組みを理解し紹介します ・団体・企業・行政・社協などと連携し地域のネットワーク構築に努めます	平均点 3.14	社協の取組の紹介や団体・企業・行政・社協と連携したイベント等を通じて、ネットワークづくりや連携して取組む体制づくりが進められています。 一方で、協力の機会が限定的になっている団体もあり、今後はさらに連携を深めていく必要があると感じている団体が見られます。
9		② 一人ひとりの権利を尊重しよう	・認知症サポーター講習を受け理解を広げます ・積極的に行政に少数者の声を届けます ・支援の際は本人の意思を尊重することを目指します	平均点 2.96	本人の意思を尊重した支援や、さまざまな声を届ける取組が進められています。 一方で、十分に実施できていない団体があることや、本人の意思決定を支援することが難しいと感じている団体も見られます。
10		③ 地域福祉の基盤を整備しよう	・異なる分野の団体、個人、専門家と連携を強化し、情報を共有発信していきます	平均点 2.71	他団体や専門家との連携、自立支援協議会・地域連絡会等での情報共有が、連携強化につながっています。 一方で、異なる分野との連携が進んでいない団体や検討中の団体も見られ、情報発信の強化が課題だと考える団体もあります。

【地域福祉活動やまちづくりの中で、団体・企業としてできることや、取り組んでみたいこと】

	目指す地域の姿	活動目標	団体でできること	地域福祉活動やまちづくりの中で、団体・企業としてできることや、取り組んでみたいこと
1	I 人と地域のつながりがあるまち	① つながるきっかけを作ろう	・地域のイベントや祭などを通じて地域交流しつながります	・販売会などの協力 ・地域行事への参加や園行事を通じて、より多くの地域住民が関われる機会を増やしていきたい ・施設の祭りに、多くの一般の方々が来てもらえるように工夫していく
2		② つながる場を作ろう	・団体内や近隣の団体と協力し、つながる場の提供など考えます	・更に多くの国際交流団体との交流を増やして行きたい ・当社で開催している夢の島マルシェをさらに拡大し、近隣のスポーツ・文化施設の特色を併せた複合的なイベントを夢の島地域全体で行う ・夏の夜間開館時の場所の提供。公園イベント時のワークショップなど
3		③ つながる仕組みを活用しよう	・地域におけるさまざまな関係機関とつながりを作っていきます	・保健所、病院。消防署などとは外国人が困った時の対応などについて通訳活動や講習会などを通じてつながっているが、これを更に広範囲に広げて行きたい ・東京都水の科学館と連携し、江東区民をはじめ、ひろく都民へ向けた水に関する企画を検討したい ・こらぼら（江東社会貢献ネットワーク内）における活動連携
4	II 支え合い、助け合いのあるまち	① 思いやりの心を育てよう	・学生ボランティアの体験場所として受け入れます ・ボランティアに参加した方に感謝の言葉をかけます	・安定した参加につながるよう、中高生だけでなく卒園児にも声をかけるなど検討していきたい ・受け入れを継続していく。ボランティアへつなげる事 ・月1回～2回公園内・植物館でのボランティア募集。高校のボランティア部との協働実施
5		② 地域で助け合おう	・団体が有する専門知識や経験を地域に共有します	・官公庁からの依頼でやさしい日本語の講習会を数回実施した。これを更に増やしたい ・相談や支援内容の周知の強化をしていきたい ・地域の困りごとに対して、できることがあれば取り組みたい
6		③ 人材を育成しよう	・ボランティアを積極的に受け入れます	・ホームスタートのボランティア養成講座、チャイルドラインの受け手傾聴ボランティア養成講座を継続実施予定 ・受け入れ体制を維持しながら、地域の人材育成につながる機会を増やしていきたい ・祭りだけでなく、様々な行事へ参加してもらえるようにしていきたい
7		④ ボランティアや地域貢献活動を推進しよう	・地域活動に参加・協力します ・自ら進んで地域貢献活動をし ・お互いに助け合える地域になるよう、ボランティア活動を広げていきます	・学生ボランティアとして参加してくれた中学生との交流をさらに深め、子どもたちと学生双方にとって学びのある関係を継続していきたい ・だれもが支え支えられる立場であることを体験してほしいと考え、小学生や障害児もだれかの役に立つ、だれかの支えになる経験ができる活動を進めていきたい ・地域社会の一員として、障害者や高齢者など社会的弱者がいることを認めて社会を作っていく

	目指す地域の姿	活動目標	団体でできること	地域福祉活動やまちづくりの中で、団体・企業としてできることや、取り組んでみたいこと
8	Ⅲ 安心できる生活を支える仕組みのあるまち	① 安心して暮らせる環境を整えよう	・ 団体同士連携・協働して取組む体制づくりを進めます ・ 社協の取組みを理解し紹介します ・ 団体・企業・行政・社協などと連携し地域のネットワーク構築に努めます	・ 保険相談所との連携を強化し、地域のアルコール依存症者の相談を支援を行う。（ピアスタッフの知識・経験を活かす）医療機関とも同様に連携をとってみたい ・ 地域の高齢化にあたり、災害時や緊急時の協力体制などに不安がある。連携をさらに深めていくことの必要性を感じている ・ 取組を広げ、将来進めていくことができるよう法人内で方向性をかためています
9		② 一人ひとりの権利を尊重しよう	・ 認知症サポーター講習を受け理解を広げます ・ 積極的に行政に少数者の声を届けます ・ 支援の際は本人の意思を尊重することを目指します	・ 障がい者スポーツ・文化の理解を含める障がい者One day イベントの開催をして、様々な種類の体験イベントを体験できる場を提供したい ・ こどもの権利について、こども自身が学び声にだせるよう取り組んでいる。地域の中でこどもや発達障害をもつ子、親への理解推進に向け引き続き活動していく ・ さらにきめ細やかな面談を行い、利用者本人の意思を支援に反映させていく
10		③ 地域福祉の基盤を整備しよう	・ 異なる分野の団体、個人、専門家と連携を強化し、情報を共有発信していきます	・ 地域への情報発信を強化し、より多くの関係機関と連携できる体制づくり ・ こらばら内（江東社会貢献ネットワーク）における活動連携 ・ 障害、高齢、保育などの団体と連携し、いろんな人が集まる場を考える